

間前後、Ⅲ. 独自の疫学研究、Ⅳ. 臨床エビデンスの政策への反映に関する啓蒙活動、がある。

- I. 44編の英語論文を誌上発表 (Impact factor 総計: 82.5)
- II. 2001年からスタートして、本年度は7年目にあたる。毎年約80名が参加
- Ⅲ. 臍帯血研究、双胎研究、癌分子診断
- Ⅳ. 内閣官房危機管理監アドバイザー、内閣官房安全保障・危機管理室講師、G8法疫学ワークショップ参加

5. 診 療

1) 病院概況

- (1) 本 院 (院長: 森山寛、副院長: 細谷龍男、落合和徳、橋本和弘、小路美喜子、事務部長: 今出進章)

(1) 病床利用状況

平成18年度の病床利用率は稼働床1,042床に対して87.2% (昨年比+0.0)、平均在院日数は、14.1日 (昨年比-0.9日) であった。

(2) 患者紹介率

平成18年度の紹介率は年間平均で医療法51.5% (昨年比-0.7)、保険法45.6% (昨年比-2.18) であった。

(3) 初期臨床研修

平成18年度採用者は医科30名 (内訳: 本学卒18名、他学卒12名)、歯科3名の計33名であった。その内、医科、歯科の各1名が健康上の理由等から研修中断 (退職) となった。

(4) 行政監査・指導・検査

- ① 平成18年度立入検査 (平成18年10月18日)
- ② 医療法第25条第3項による特定機能病院の立入検査 (平成18年10月18日)
- ③ 精神病院等実地指導 (平成18年12月20日)

(5) 当院で1例目の生体肝移植が実施された。(平成19年2月9日)

(6) 先進医療

① 新規認可

- 「画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術」(平成18年8月31日付)
- 「実物大臓器立体モデルによる手術計画」(平成18年10月31日付)
- 「超音波骨折治療法」(平成19年3月20日付)

② 診療報酬改定により保険収載へ変更

- 「臓器限局性前立腺癌に対する腹腔鏡下根治的前立腺摘除術」(平成18年4月1日付)

(7) 臨床研究、保険適用外診療 (平成18年度審査状況)

認可件数: 新規申請75件、変更申請 (期間延長など) 45件

(8) 診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業

平成18年6月1日、平成19年2月22日に、それぞれ他大学病院での死亡例について、当院での解剖が実施された。

(9) 病院改修 (外来改修等) について

- ① 外来棟 (A棟) エレベーター到着表示灯設置工事 (平成18年5月)
- ② サイン工事
 1. 外来サイン工事 (平成18年5月)
 2. 管理棟脇「慈恵医大病院」の案内看板設置工事 (平成18年7月)
- ③ 血液浄化部移転に伴うE棟6階改修工事 (平成18年6月)
- ④ 外来棟スターバックス出店工事 (平成18年8月)
- ⑤ 画像診断部関係

1. 外来棟 X 線 TV 更新工事（骨塩定量検査室移転含む）（平成18年 6 月）
 2. 外来棟No.6 室 CT を16列 CT に更新（平成18年 8 月）
 3. 外来棟No.7 室 CT を 2 管球 CT に更新（平成18年 9 月）
 4. 外来棟画像診断部超音波検査室改修工事（平成18年10月）
 5. 外来棟画像診断部No.15室 MR 更新工事（平成19年 3 月）
 6. 中央棟 3 階手術室移動型外科用 X 線装置新設（平成19年 3 月）
 - ⑥ 医療ガス設備定期整備工事（平成18年12月）
 - ⑦ 院内各所防犯カメラ設置工事（平成18年12月）
 - ⑧ ペインクリニック医師控室設置工事（平成19年 2 月完了）
 - ⑨ ポケットベル・サービス打ち切りに伴う PHS への変更並びに PHS 電波不感帯へのアンテナ設置工事（平成19年 3 月）
 - ⑩ 中央棟手術部での手術画像を大学 1 号館講堂への転送システム構築工事（平成18年 7 月）
- (10) 医療安全管理
- ① 医療安全推進室定例ミーティング（SMART FORCE）を毎週月曜日に定期開催した。
 - ② 全ての教職員や委託職員に対し、携帯版リスクマネジメントマニュアルを配布した。（平成18年 4 月 1 日）
 - ③ 「医療安全推進週間」を実施した。（平成18年11月 5 日～25日）
 - ④ 私立医科大学病院医療安全推進連絡会議の事務局業務を担当した。東京地区の私立医大病院間の相互ラウンドの実施、医療事故等の公表基準や異状死の届出等について検討した。
 - ⑤ 医療安全に関わる新たな基準を運用した。主な基準は下記の通り。
 - ・インスリン・スライディングスケール伝票の標準化と低血糖時対応マニュアルの制定（平成18年 5 月）
 - ・脊椎造影剤施行マニュアルの制定（平成18年10月）
 - ・術中・術後の体内遺残防止策として手術室での胸・腹部 X 線撮影を開始（平成18年12 月）
 - ・小児鎮静マニュアル（病棟・外来）の制定（平成19年 1 月）
 - ・皮膚レーザー治療プロトコルの改訂（平成19年 3 月）
 - ・複数ルート挿入時の誤接続防止識別テープの運用（平成19年 3 月）
 - ⑥ 医療安全管理室の名称を医療安全推進室に変更した。（平成18年 7 月 1 日）
 - ⑦ 慈恵大学インターネットホームページに「より安全な医療の推進」として医療安全に関わる情報を掲載した（平成19年 3 月）
- (11) 院内感染対策
- ① ICU、PICU、NICU 病棟の定期的ラウンドを実施した。
 - ② 昨年度に引き続き、SSI（手術部位感染）サーベイランスを実施した。
 - ③ 4 病院合同感染対策に係る医療安全緊急会議を開催した。（平成19年 3 月 6 日）
- (12) エイズ拠点病院として、エイズ拠点病院運営協議会に該当医師（感染制御部等）が出席、診療体制の充実・強化を図った。
- (13) 緊急連絡方法のための医療用 PHS を全医師（有給者）、医局、各部署に配布した。（平成19年 3 月22日）
- (14) 保険関係承認・届出関係
- ① 診療報酬改定に伴う施設基準の届出を行なった。（平成18年 5 月13日）
新設の 7 対 1 入院基本料を 4 月より算定した。
 - ② 特定集中治療室管理料加算（平成18年 5 月 1 日）※PICU 2 床増床に伴い届出
 - ③ 遠隔画像診断（平成18年 5 月 1 日）
 - ④ 重症者等療養環境特別加算（平成18年 7 月 1 日）※血液浄化部移転に伴い届出
 - ⑤ 褥瘡ハイリスク患者ケア加算届出（平成18年11月 1 日）

- ⑥ 【辞退届】顎口腔機能診断料（平成18年4月1日付辞退）
- (15) 患者支援・医療連携センターを設置した。（平成18年4月1日）
患者中心の医療をさらにスムーズにかつ積極的に推進することを目的として、在宅療養指導室、ソーシャルワーカー室、医療連携室、外来予約案内係を統合した。主な活動内容は下記の通りである。
- ① 長期入院患者の転院・在宅への推進
 - ② 病病・病診連携の強化推進
 - ③ 4病院の役割・機能分担、連携の強化
- (16) 診療体制の整備
- ① 救急科を開設した。（平成18年4月1日）
 - ② 小児心臓外科部門を総合母子健康医療センター内に開設した。（平成18年4月1日）
 - ③ 血液浄化部移転に伴う病棟移転（6E病棟、10E病棟）を行なった。
（平成18年6月17日）
 - ④ 漢方外来を総合診療部の専門外来として開設した。（平成18年11月11日）
 - ⑤ 超音波検査室の名称を超音波診断センターに変更した。（平成19年1月9日）
 - ⑥ 診療録と看護日誌の記載一元化を開始した。（平成19年3月1日）
- (17) 患者サービス
- ① 外来棟1階にコーヒーショップ（スターバックス）を設置した。（平成18年8月21日）
 - ② 入院患者向けフロアコンサート
 1. 日時：平成18年12月6日（木）午後4時～5時 演者：原田真二さん（歌手）
 2. 日時：平成18年12月9日（土）午後4時30分～5時30分 演者：本学合唱部
 3. 日時：平成19年2月17日（土）午後4時00分～5時00分 演者：当院看護師と有志
 - ③ 患者向け広報誌「すこやかインフォメーション」第7号（平成18年4月）第8号（平成18年7月）第9号（平成18年10月）第10号（平成19年1月）を発刊した。
 - ④ 「愛宕山みんなの健康教室」を開催した。※NHK放送博物館と共催
第8回（平成18年9月26日～29日）、第9回（平成19年3月3日）
- (18) 講演会、シンポジウムの開催について
- ① 4病院合同リスクマネジメントシンポジウム（合計3回開催）
 1. 日 時：平成18年7月4日（金）18：00～19：30 テレビ会議システム
テーマ：『周術期の深部静脈血栓症・肺血栓塞栓症の予防と対策』（青戸主催）
 2. 日 時：平成18年11月6日（月）18：00～19：30 テレビ会議システム
テーマ：医療安全を発展的に再生産させる組織
講演者：横浜市立大学医学部医療安全管理学 橋本 勉夫 教授
 3. 日 時：平成19年3月7日（水）18：00～19：30 テレビ会議システム
テーマ：リスクを減らす私達の工夫（第三病院主催）
 - ② リスクマネジメント基礎研修会
 - 日 時：第1回 平成18年4月11日（火）第2回 5月22日（月）
第3回 平成18年10月26日（木）17：30～18：30
テーマ：リスクマネジメント総論、携帯版リスクマネジメントマニュアルについて
 - ③ リスクマネジメントセミナー
 1. 日 時：5月31日（水）午後5時30分～午後7時
テーマ：『術野消毒と手洗い』
 2. 日 時：9月29日（金）午後5時30分～午後6時30分
テーマ：クレームの防止と発生時の対応
 3. 日 時：平成19年1月26日（金）午後6時～午後8時
テーマ：適切な保険請求とリスクマネジメント
 4. 日 時：平成19年2月20日（火）午後5時30分～午後6時30分

テーマ：医療安全のピットホール（落とし穴）

④ 医療安全教育ワークショップ

日 時：平成18年 4月15日（土）、平成18年 8月19日（土）、平成18年 9月16日（土）
平成19年 1月13日（土）

⑤ 医療機器安全使用のための講習会（延べ17回開催）

⑥ 医療安全ワークショップ

日 時：平成18年11月21日（火）午後 6時～午後 8時

テーマ：医療安全へのシステム工学アプローチ 演者：東京大学工学部飯塚悦功教授
分析手法 POAM の概略説明 演者：早稲田大学理工学部棟近雅彦教授
各病院の事例分析報告と講評

⑦ 4病院合同慈恵医大褥瘡セミナー（第5回）

日 時：平成18年11月 7日（火）18：00 於大学1号館講堂

講 師：市岡 滋 助教授（埼玉医科大学形成外科）

(19) 慈恵 ICLS コース、慈恵 BLS コース

① 心肺停止患者に対する適切な救急蘇生の手技教育「慈恵 ICLS コース」を年間 9 回開催した。

② 初期心肺蘇生術の講習会「慈恵 BLS コース」を年間22回開催した。

(20) 鏡視下手術トレーニングコース

鏡視下手術を行う外科系医師の育成、認定を行う独自の制度である鏡視下手術トレーニングコース認定試験を実施した。（STEP 1 計 4 回、STEP 2 計 4 回）

(21) 東京消防庁から救急救命士の気管挿管における病院実習の依頼があり、1名の受け入れを行った。（平成18年 5月～7月）

(22) 東京都赤十字血液センターによる献血が実施された。献血者94名（申込者数141名）
（平成19年 2月 6日）

(23) 入院患者見舞い来院者への面会バッジの運用を開始した。（平成18年12月25日）

(24) 総合健診・予防医学センター（センター長：銭谷幹男 所長：和田高士）

健康医学センターの名称を総合健診・予防医学センターに改称し、センター長には診療部長として銭谷幹男教授を任命した。併せて、新橋健診センター、晴海健診センターを設置し、それぞれの所長には診療副部長として、和田高士助教授、阪本要一教授を任命した。
（平成18年 7月 1日）

(25) 慈恵医大晴海トリトンクリニック（所長：阪本要一）

平成18年度の患者数実績は、1日平均外来患者数146.3人（昨年比+5.8人）、健診は23.8人（昨年比+1.9人）である。

(2) 青戸病院（院長：臼井信男、副院長：伊藤 洋、吉田和彦、事務部長：丹羽克巳）

(1) 平成18年度の病床利用率は使用床375床に対して85.9%、平均在院日数は14.1日であった。

(2) 平成18年度の患者紹介率は医療法で43.8%、保険法で41.7%であった。

(3) 平成18年 4月17日～22日の期間、適正医療推進週間とした。

(4) 平成18年 5月23日、学内横断的タスクフォース報告会を開催した。

(5) 平成18年 6月24日、フロアコンサートを開催した。

(6) 平成18年 6月14日、厚生労働省に DPC 準備病院の届け出を行った。

(7) 平成18年 7月11日、青戸病院リニューアルタスクフォースのキックオフミーティングを開催した。

(8) 平成18年 9月12日、青戸病院リニューアルタスクフォースの中間報告会が開催した。

(9) 平成18年 9月15日、本田消防署管内での自衛消防隊訓練審査会が開催され、青戸病院隊は準優勝した。

(10) 平成18年10月から、外科系救急当番医制度の運用を開始した。